

# 令和6年度 第1回 大野市廃棄物減量等推進審議会の概要

日 時 令和6年8月2日（金）  
午後7時00分～8時00分  
場 所 結とぴあ 302号室

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 議 事

### (報告事項)

#### (1) 令和5年度のごみ処理状況

事務局から資料1ページから6ページにより説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：最終処分場の残りの埋立能力と年数は。

⇒事務局：最終処分場の最終埋め立て計画は25,000 m<sup>3</sup>であり、今20,000 m<sup>3</sup>とすると、残り5,000 m<sup>3</sup>となる。土堰堤をもう一段立てないと、残りのベースが埋められない。現在、環境影響調査を行っており、その後もう一段立てて、計画で25,000 m<sup>3</sup>までの埋め立てを計画している。

#### (2) 令和5年度の廃棄物減量化及び資源化に向けた取組

事務局から資料7ページから9ページに基づき説明を行った。

○委員：宅配の小型家電のリサイクル率はどれぐらいで、何に利用されているのか。回収後の利益は市に還元があるのか。

⇒事務局：リサイクル率を出すことは難しい。また、無料回収するのみである。

○委員：大野福社会で回収されたものはどこかで売却していると思うが売上は市に還元されているのか。

⇒事務局：数字のみ報告をいただいている。

○委員：説明会の手応えと可能性はいかがか。

⇒事務局：資料にもあるが、地区別説明会を50回行い1,738人、またワクワクお届け講座にて88回行い2,840人の方に聞いていただき、実感はある。今後も説明会をしていけば浸透するのではないかと考えている。

#### (3) プラスチック資源回収について

事務局から資料10ページに基づき説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：品目を限定し、分別方法がわかりにくいいため、プラスチック資源がステーションに出ていない。見直しはないか。

⇒事務局：今年からプラスチック資源の分別を始めたばかりであるため、今すぐ改めるということは考えてないが、ビュークリーンと相談し、必要があれば見直しを図っていきたいと考えている。

○委員：5品種に限定した理由は。

⇒事務局：一度に全てのプラスチックを対象にすると混乱を招く懸念があった。また、全てのプラスチックを保管しておく場所の問題があったため、まずは品種を限定してスタートした。特にこの5品種である理由は、一般家庭にあるわかり易いプラスチック資源であるため。

#### (4) その他

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：道路に出ている草や木の枝がある。処理できるか。

⇒事務局：市に報告いただければ道路管理者等に伝える等、対応できる。

○委員：カラスの害がひどい。なにか対策は

⇒事務局：ごみステーション設置補助のみである。

○委員：現在のごみステーション設置補助は大きいものみの補助である。カラス対策のために内容の見直しを検討することはないか。

⇒事務局：今のところないが、ご提言として受けた。

○委員：収集作業員からだが、収集できないものはシールを貼っておいていく。これに対して市民からなぜおいていったか問合せが市に多くあると思う。その問合せの時にできるだけ詳細を聞き取ってできるだけ見に行ってもらいたい。双方のすれ違いが減ると思う

⇒事務局：できる限り情報確認してから収集業者に連絡させていただくように注意を払っていく。

#### 閉会

・副会長あいさつ